



**ご注意**

ご使用前に必ず  
お読みください

- 各種ライフル・マシンガン系のほとんどの製品に使用可能ですが、機種によっては別途スリングアダプターが必要な場合や取り付けできない場合があります。不明な場合は弊社WEBサイトでご確認いただくか、販売店スタッフにおたずねください。
- スリングを使用することによって銃本体に傷がつく場合があります。また、本来の使用法以外や過度の負荷をかけた場合、スリングや銃本体が破損する恐れがあります。
- 使用中、銃本体や身体等にスリングが巻き付く場合があります。銃本体の破損やけがの原因となる場合がありますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 誤って首に巻き付いたりなど重大な事故につながる恐れがありますので、ペットや小さなお子様の触れられない場所へ保管してください。

## 1 セット内容 / 各部名称



- 各部名称 (セット個数)
- A バックル (2)
  - B クイックアジャスター (1)
  - C クイックリリースタグ (1)
  - D コキ (4)
  - E ゴムカバー (1)
  - F フック (2)
  - G リング (1)
  - H クッションパッド

## 2 ベルトの通し方

2つの例を紹介します。好みや使用傾向に合わせた方法で取り付けてください。

### ● ベルトの通し方 (調整しやすさ重視)

- 長さの調整がしやすく、調整範囲が広い
- × 余ったベルトが邪魔になることがある



▲アジャスターの内側からベルトを通す



▲長さを調整しながら締めこんで完成

### 余ったベルトが邪魔な場合①



▲コキに上から戻すように再度通して締めこむ

### 余ったベルトが邪魔な場合②



▲余ったベルトを結ぶか、付属のゴムカバーでまとめる

## ●ベルトの通し方 (スマートさ重視)

- 余ったベルトが邪魔にならずほかの装備等に引っかかりにくい
- × 調整に少し手間がかかる、調整可能範囲が少なめになる



▲アジャスターは外側から通す



▲余ったベルトが間に挟まれるので邪魔にならない



さらに短くしたい場合の例



▲さらに短く調整する際、余ったベルトは中で折り返す

▲折り返した部分を付属のゴムカバーでまとめる

## 3 取り付け方法

本スリングはアジャスターのある方が銃のフロント側に来るように取り付けます。

## ●フロント側のスリング取り付け例

一般的な取り付け例を紹介します。決まりはありませんが、ご使用の銃によってはできない取り付け方もあります。見た目の好みや使いやすさなどに合わせて取り付けてください。



スリングホールにフックで取り付ける



別売のQDスリングスイベルを使用してQDホールに取り付ける



別売のレールスリングアダプターを取付けてベルトを通す



スリングホールの大きさに余裕がない時はリングを使用



銃に備え付けのスリングループやスイベルにベルトを通す



別売のレールスリングアダプターを取付けてフックをかける

## ● リア側のスリング取り付け例

一般的な取り付け例を紹介します。決まりはありませんが、ご使用の銃によってはできない取り付け方もあります。見た目の好みや使いやすさなどに合わせて取り付けてください。



リアスリングループにベルトを通して取り付ける



銃に備え付けのスリングループやスイベルにベルトを通す



リアスリングアダプターにフックをかけて取り付ける



ストックのスリングスロットにベルトを通して取り付ける



スリングホールにフックがかからない場合付属のリングを使用



市販のパラコードを利用する

## 4

## 使用例

※今回のモデルはライフルは右利き、ハンドガンは左利きです。

いくつかの使用例を紹介します。決まりはありませんのでひとつの参考例としてご覧ください。このほかにも、動画サイトや専門情報誌、WEB サイト等で沢山の使用例や作法が紹介されていますので併せて参考にされることをお勧めします。

ストックの右側面からベルトが出るようにセットアップしておくと銃をかまえた時やスイッチングの時に身体とバットプレートの間でベルトが挟まらずスマートに使用できます。

クイックアジャスターは中央位置にしておきます。(伸・縮どちらの方向にも調整しやすくなる。)

スリングを首にかけた後、左腕を通します。周りの安全を確認し、一度かまえてみて、不都合がないように好みの長さに調整してください。(クイックアジャスターを使わずベルトの基本の長さを調整します。)



## ● 銃の左右スイッチングの例



- 1、右側に構えている状態
- 2、左腕をスリングから抜く
- 3、銃を前に出すように右腕を伸ばしスリングを左肩から首の後ろにすらす。
- 4、銃を左肩へ移動させる。
- 5、グリップを左手、ハンドガードを右手に持ち替えて構える。

## ● トランジション（銃の持ち替え）の例



- 1、スリングから左腕を抜く。
- 2、クイックリリースタグを引き、スリングを伸ばす。
- 3、銃を背中側に回す。
- 4、クイックアジャスターを引っ張りスリングを締めて、銃を体に密着させる。
- 5、ハンドガンを抜いて構える。

## ● マガジンチェンジの例



1、弾切れになったら、マガジンキャッチを押し込み、マガジンを抜き取る（または自重で落とす）。



2、スリングから左腕を抜く。銃は体の前で、右腕の関節付近にストックをのせるように保持する。



3、銃は少し内側にひねり、マガジンを入れやすくする。マガジンを装填しもとの体勢へもどる。

## ● スリングを使用して保持力を高める例



1、通常の射撃体勢。この後左手を離すので、右手はこの状態を維持するようにしっかり持つ。



2、左手でクイックアジャスターを引くと、銃が体に引き付けられるので、ホールド感が増す位置で止める。



3、左手でハンドガードをつかみなおす。軽く脇をしめると、よりしっかりと固定できる。

## ● 作業や移動を行う際に身体の前面で銃を保持する例



1、右手でグリップやストックをしっかりとつかみながら、左手でクイックアジャスターを操作します。



2、銃を軽く持ち上げながら、クイックアジャスターを引き、スリングを縮めて銃を体に密着させる。



3、作業時は銃口が常に下を向いていることを意識しておく。（しゃがむ時など横向きにならないように。）

● バックルによるスリングの着脱例 (QD やフックを用いていない場合などに)



1、銃が落下しないようにしっかりとつかんでおく。



2、バックルの左右にあるボタンをつまむように押し込むと簡単に外すことができます。



3、装備品が多い場合など、スリングを着脱しやすくなります。

● 簡易的にワンポイントスリングとして使用する



1、フロント側のフックとリア側のフックを写真のような向きに合わせて取り付けます。



2、フロント側のフックをリア側のフックにあるホールへ取り付けます。



3、リアスリングアダプターなどへ、リア側のフックを取り付け、ベルトの長さを調整します。

● 別売オプションパーツ



QDスリングスイベル (2個セット)  
定価 2,400 円 (税別)



レールスリングアダプター  
定価 2,480 円 (税別)

公式サイト  
アクセス QR コード



**MARUI** 株式会社 東京マルイ

〒120-0005 東京都足立区綾瀬4-16-16  
製品に関するお問い合わせ 03-3605-3378

※完成品直輸入のため、修理及びパーツの販売はおこなっておりません。予めご了承ください。

©TOKYO MARUI Co.,Ltd. PRINTED IN JAPAN